

千葉大学医学部附属病院で胆道や膵臓の ご病気に対して内視鏡治療を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月31日

消化器内科

消化器内科では、通常の肝胆膵内視鏡治療では治療困難な患者に対しての、内視鏡挿入補助具（スライディングチューブ）を併用した内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）の有効性と安全性に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2010年1月1日～2026年2月28日の間に当院で
内視鏡の挿入が困難だったためにスライディングチューブを併用して
胆道や膵臓のご病気に対して胆膵内視鏡治療（ERCP）を受けられた方

1. 研究課題名

「乳頭到達困難症例に対する、スライディングチューブ併用下の内視鏡的逆行性胆道膵管造影の有効性と安全性」

2. 研究期間

2026年承認日～2030年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

ERCPを行う際に、胃や十二指腸などの手術歴がない方でも十二指腸乳頭部まで内視鏡挿入困難となる患者さまがいらっしゃいます。近年そのような内視鏡挿入困難症例に対してスライディングチューブを用いて治療を安全に完遂できた症例が報告されており、当院でも実施させていただいています。しかしながらその有効性と安全性に関しては十分に検討されていないため本研究で詳しく調べ、内視鏡挿入困難な方の治療方針に

役立てます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、日常生活活動、生活歴（飲酒歴・喫煙歴）、既往歴、併用薬、血液検査値、画像検査、ERCP 施行歴、ERCP の検査時間および処置内容。また ERCP に関する治療関連有害事象。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 講師 大山広

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 講師 大山広

043 (222) 7171 内線72025